



令和4年3月

「変化を乗り越えて」

3月・4月は様々な場面で変化が訪れる季節です。卒業・入学・就職・引っ越し…新しい環境への出会いは期待と不安が織り交じる物となります。私自身も、プライベートでは変化をあまり好まないタイプなので、なるべく環境の変化をしない様にしています。(仕事上の変化や挑戦は大好きなのですが…)

子ども達にも、環境の変化に敏感で苦手な子がたくさんいます。環境の変化を不安に感じる要因として大きく2つの事が挙げられます。それは「過程に対する不安」と「結果に対する不安」です。人は、この二つが見えにくくなったり、分かりづらくなったりした時に不安を感じやすくなります。これらを解消する為には「過程」と「結果」を、如何に分かりやすくするのがポイントになります。

過程の分かりやすさは＝方法・手段の分かりやすさと言っても良いでしょう。個人差はありますが、人が得る情報の8割は視覚情報と言われています。私たちも、支援の中で手順(過程)を写真や動画で見せる事で分かりやすさを重視しています。

結果に対する不安を解消するには、様々な要素が絡み合います。過程がいつも同じなら分かりやすいのですが、環境の違いにより同じ状況が生まれるとは限りません。その中で、安心感を得る為の大切な事として「経験」と「人」が挙げられます。経験に関しては、今までの育ちの中で、いかに成功体験を積み重ねているかが求められます。こう書くと勘違いをされてしまうのですが、全てを成功で終わらせる事は難しいので、失敗をした時に、それを「失敗にしない」事が重要です。私たちも子どもたちが上手く行かなかった時に、それを成功への道すじの一つと捉えて伝えています。人の部分では、環境や状況、過程が違っていても、関わる人に対しての安心感や信頼感があると、それを乗り越えて結果を信じる事が出来ます。子どもたちに対する信頼感を構築する為に、私たちが約束した事は実行される事が大切です。その繰り返しの中で、私たち大人が子ども達と向き合っている事が証明されるのでしょうか。

この3月に多くの子ども達が小学校・中学校・高校を卒業して、進学・就職と新たな環境に挑戦をしてきます。皆さんが、新しい場所でたくさんの良い出会いがある事を祈りながら、私たちも応援をして行きたいと思えます。

児童通所介護 嵯峨憲司





2月 活動のご様子

3月にバザーを行う準備を1部、2部ともに頑張ってます。販売する商品を作ったり、ゲームブースの発案をしたりそれぞれが持っている個性や力を発揮できる場面で活躍してくれていました。祝日プログラムは二日あり、今回は2部の子を中心とした活動を行いました。

ステキインテリアプログラムは、ステキみんなプログラムでお部屋のお片付けを学んだ続きのプログラムとなっています。子どもから、さらに居心地のいい空間を作りたいとのリクエストで生まれました。

簡単に手に入る素材で、ステキに飾りつけてみよう、ネットでアイデアを集め、材料の買い出しから制作までを行います。インスタグラムに作り方や材料など載せていますので、そちらもご覧ください♪



先月同様、今月もバザーに出品するものを制作していました。1部の子が作るもの、2部の子が作るものどちらも個性がありステキです。



にじいろ狭山の子もたちとオンラインでゲーム大会を行いました。MJの子もたちは年長者として、にじいろの子もたちにわかりやすく問題をだしたり、場を盛り上げたりしながら楽しい時間を過ごしました。



マンカラというおはじきを移動して勝敗を決めるゲームがブームです。大人子ども関係なく、対決できるので職員も手加減なしで真剣勝負です！



お悩み多き中高生女子会を開催しました。他人に聞きたいけどなかなか聞けない体の悩み、恋愛の悩み、進路の悩みなどをテーマにしました。少しずつ話が弾み、わきあいあいとした時間を過ごしていました。話足りない！とリクエストが多数ありましたので、通常の通所時間などにもこういった時間を作っていこうと考えています。男の子の会もいいですね！

ご協力をお願い

事務手続きも年度替わりになり、実績記録表や個別支援計画書など書類関係のものへのご捺印・ご確認のご連絡することがありますのでご協力のようしくお願いいたします。



受験

おつかれさまでした!

